

平成20年12月期

中間期決算説明会



共同PR株式会社

(JASDAQ:2436)

www.kyodo-pr.co.jp



Public Relations

共同PRは、企業や団体がメディアに情報素材を提供し、記事や報道として、社会に認知されるように働きかける活動を、専門家としてサポートします。

Media Relations[®]

PR活動は、マスコミとの良好な関係を基本としています。共同PRがそれをメディア・リレーションズ(MR)と呼び、最重要ポリシーの1つにかかげています。

Web Relations[®]

インターネットユーザーが急激に増大しています。企業が日々発信する情報も、それらの情報サイトに出来る限り多く、タイムリーに、適切な形で掲載させていくことで、戦略的に外部ゲートである入口の拡大を図る必要があります。

Investor Relations

IR活動は、PR活動と連動して初めて、投資家・株主を含むステークホルダーとの良好な関係の構築につながります。私たち共同PRは広報の専門家として、メディア・リレーションズを軸にしたPR活動を通じてIR活動をサポートします。

共同P Rの業績

The financial highlight of KYODO PR

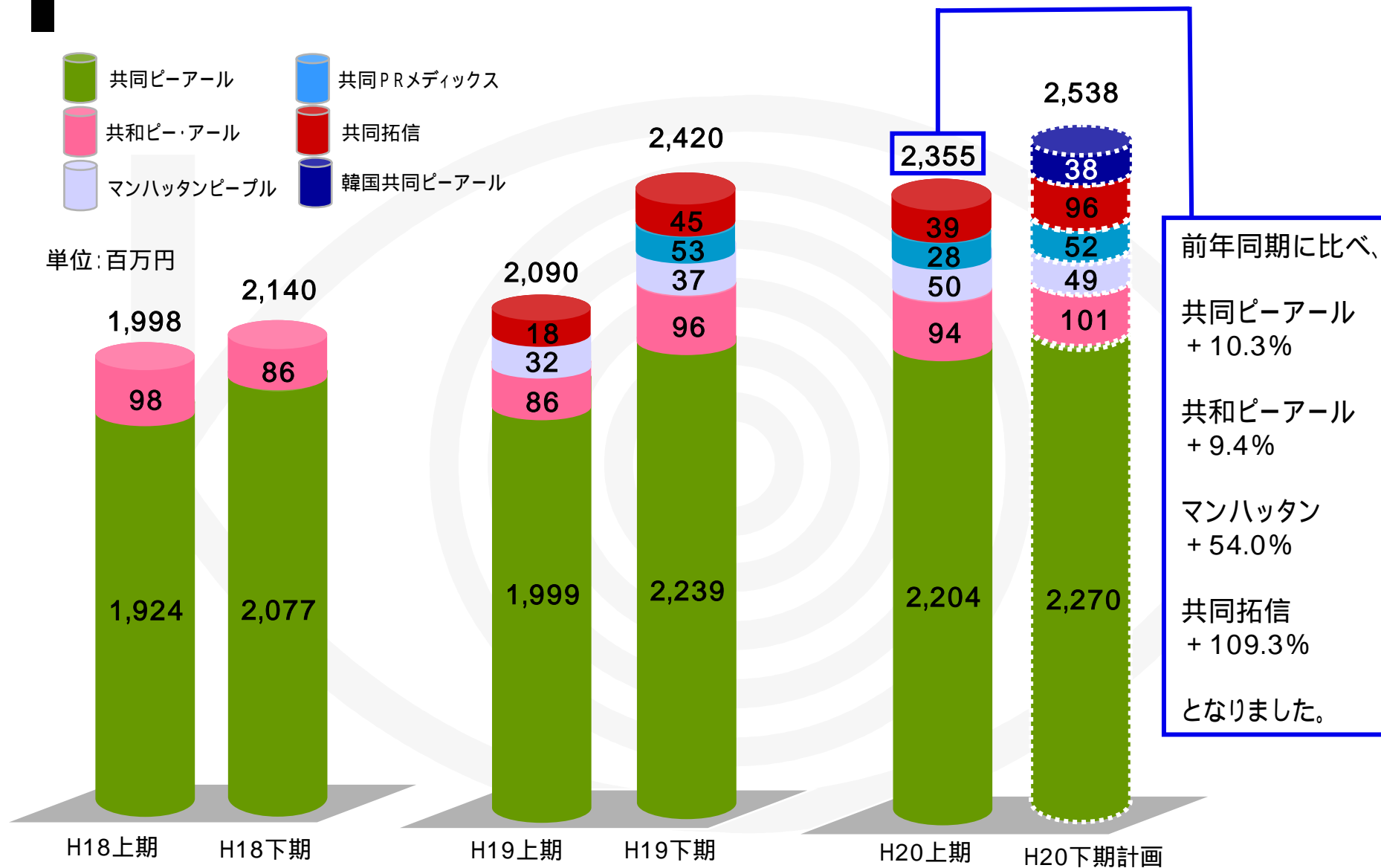


連結損益計算書要約

単位:百万円

	当中間期 (構成比)	前中間期 (構成比)	前期比 (構成比)	上期計画 (構成比)	達成率
売上高	2,355 (100%)	2,090 (100%)	264 (12.6%)	2,478 (100%)	123 (5.0%)
売上総利益	1,409 (59.8%)	1,336 (63.9%)	72 (5.4%)	1,562 (63.0%)	153 (9.8%)
販売・管理費	1,406 (59.7%)	1,240 (59.3%)	166 (13.4%)	1,426 (57.5%)	19 (1.4%)
営業利益	2 (0.1%)	96 (4.6%)	93 (97.1%)	136 (5.5%)	133 (97.9%)
経常利益	1 (0.1%)	98 (4.7%)	96 (98.4%)	137 (5.5%)	135 (98.8%)
特別損益	4 (0.2)	1 (0.1%)	6 (-)	0 (0.0%)	4 (-)
中間純利益	22 (1.0%)	34 (1.7%)	57 (-)	65 (2.7%)	88 (134.7%)
連結1株当たり 純利益	18.08円	27.45円	45.53円	51.95円	-
1株当たり 中間配当額	30.00円	30.00円			

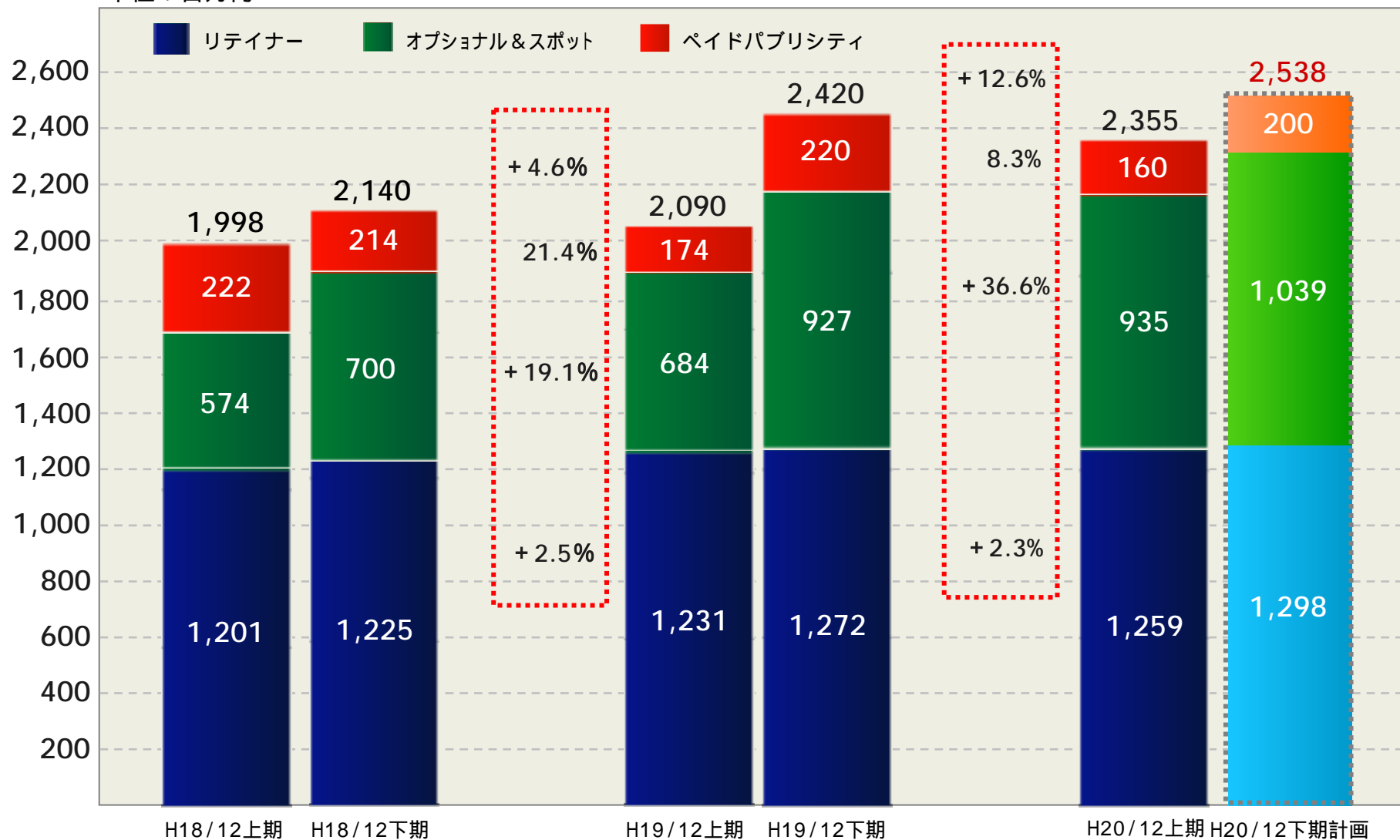
半期連結(会社別)売上高推移



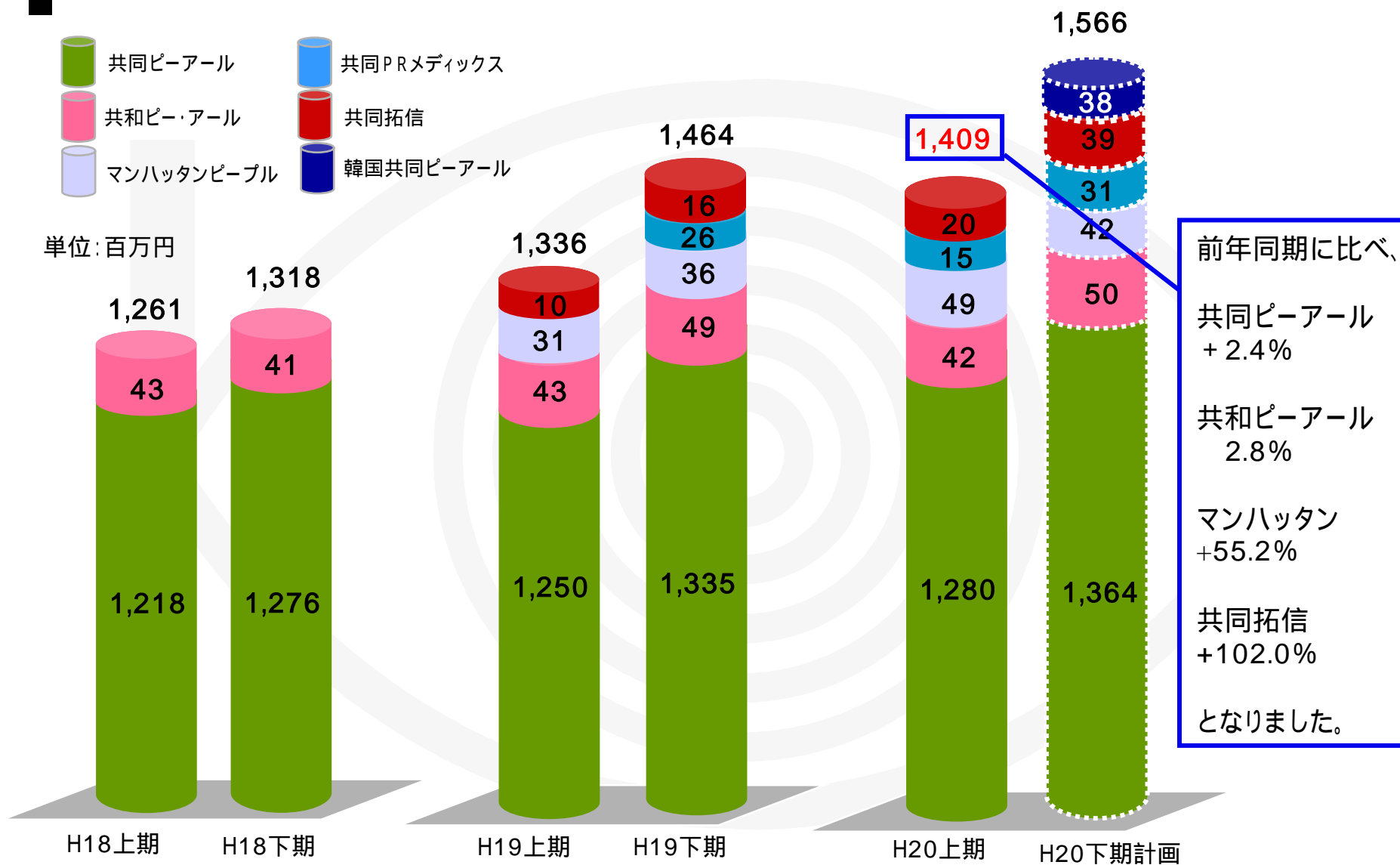
半期連結売上推移

単位：百万円

内は前上期対当上期増減率

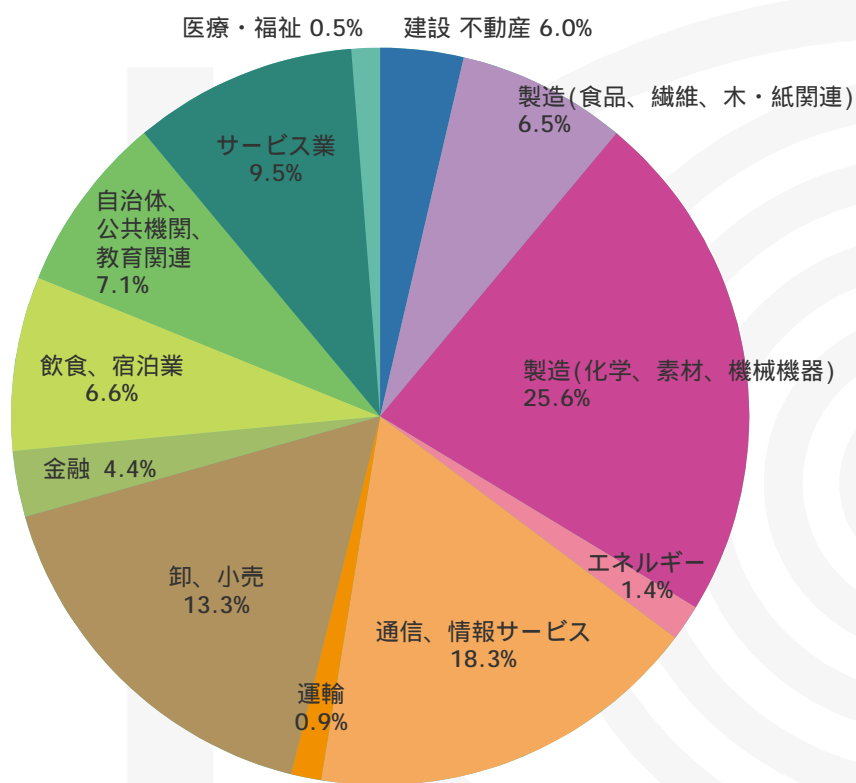


半期連結(会社別)売上総利益推移



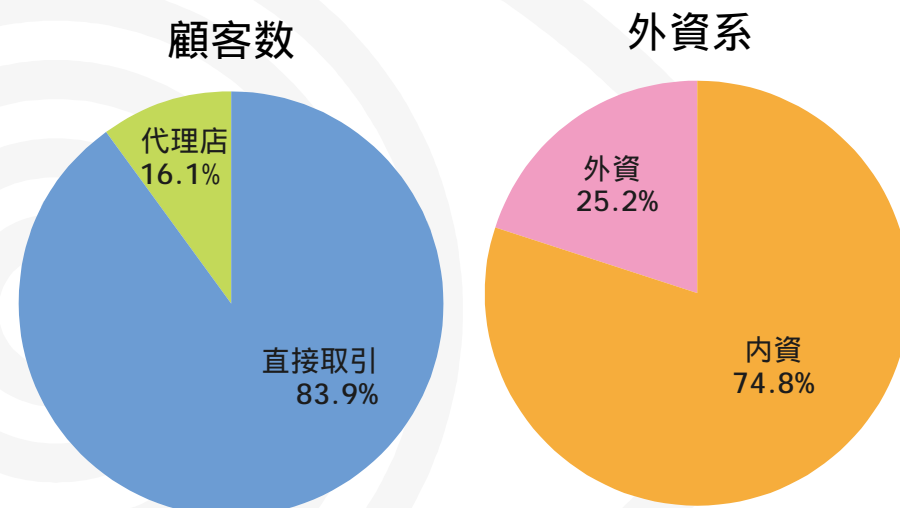
偏りの無いバランスのとれたクライアント構成

<リテイナー業種別売上構成> 平成20年6月末 単体



リテイナー売上構成は安定しており、前年期末と比べリテイナー件数は横ばい状態

<リテイナー顧客獲得経由と外資系の割合> 平成20年6月末 単体

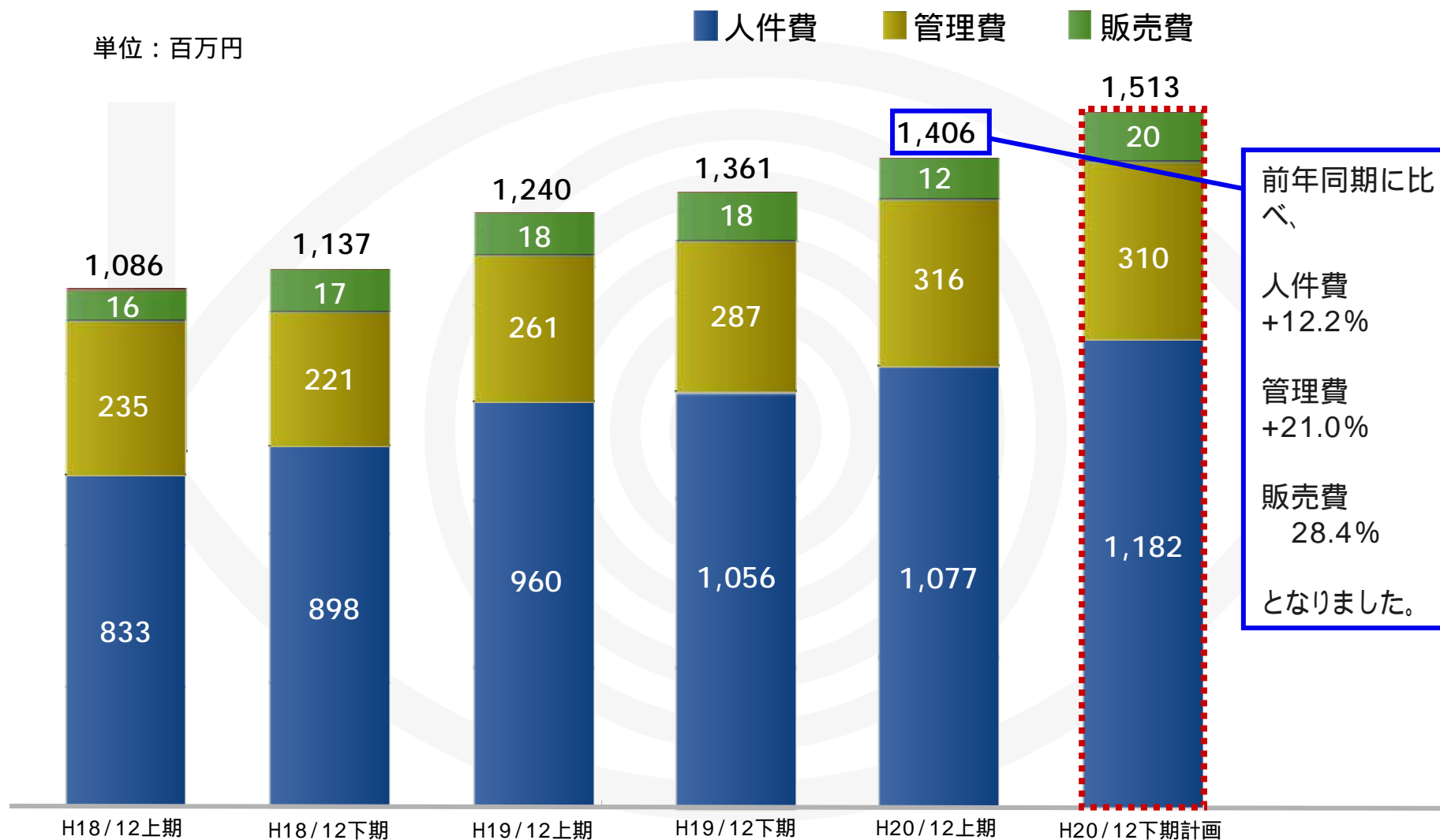


前中間期は直接取引 84.8%、代理店経由15.2%

前中間期は内資73.8%、外資26.2%

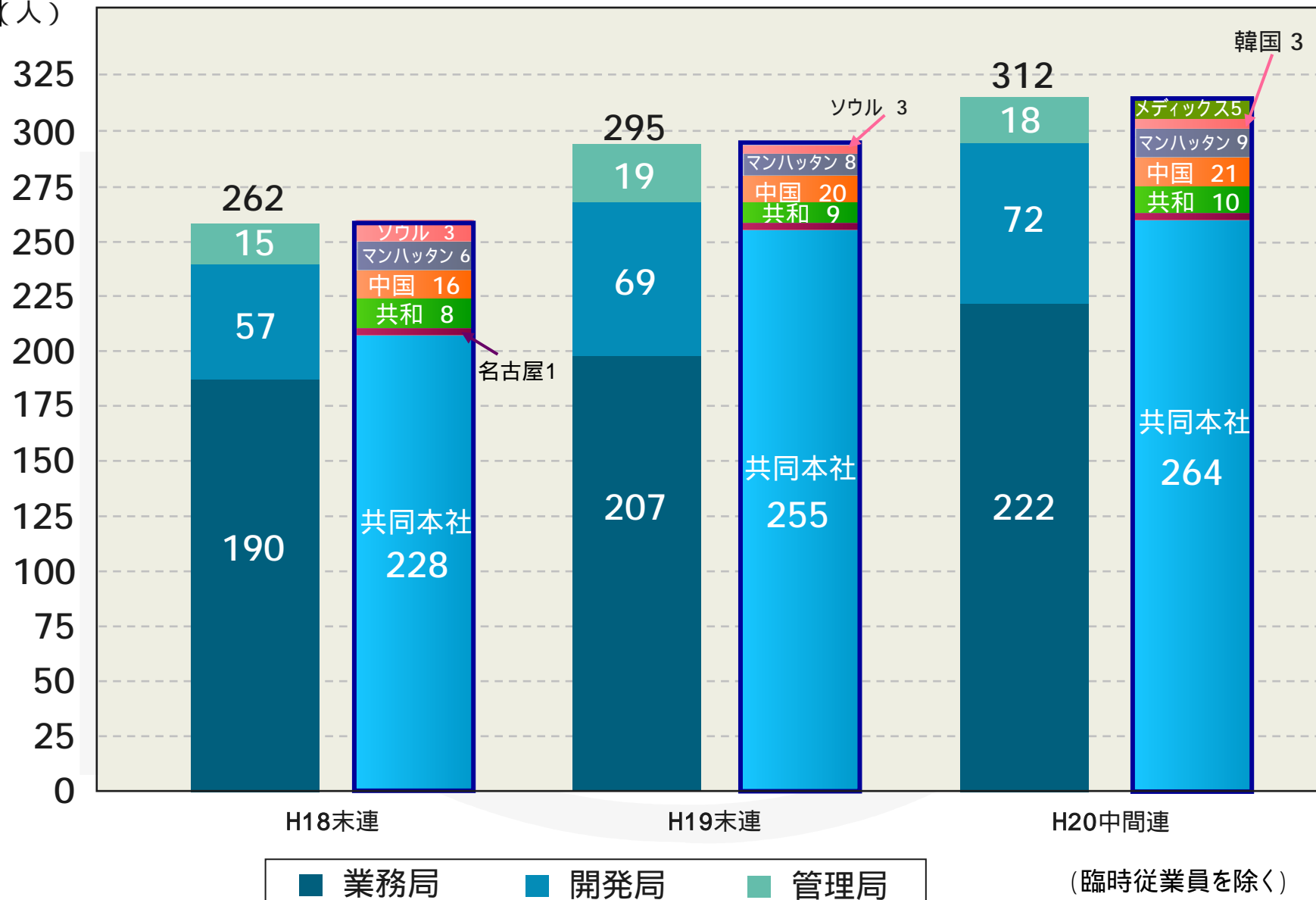
販売費および一般管理費推移

単位：百万円



部門別スタッフ数の推移

(人)



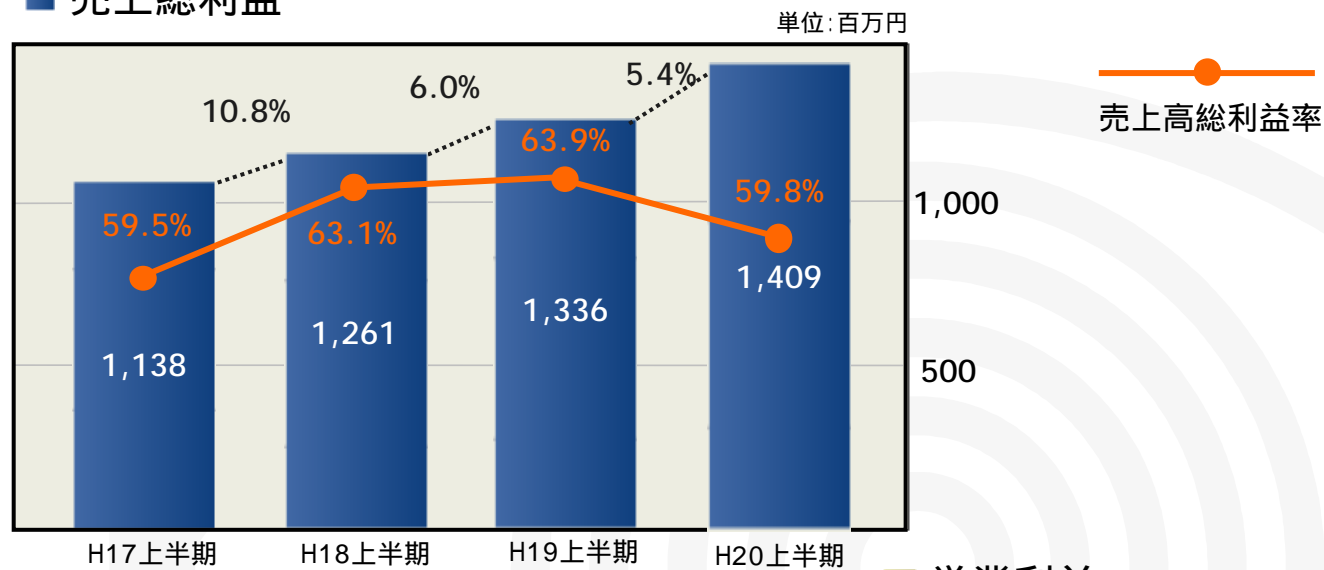
開発局の様々な部署とその業務内容

()内は主なサービス内容

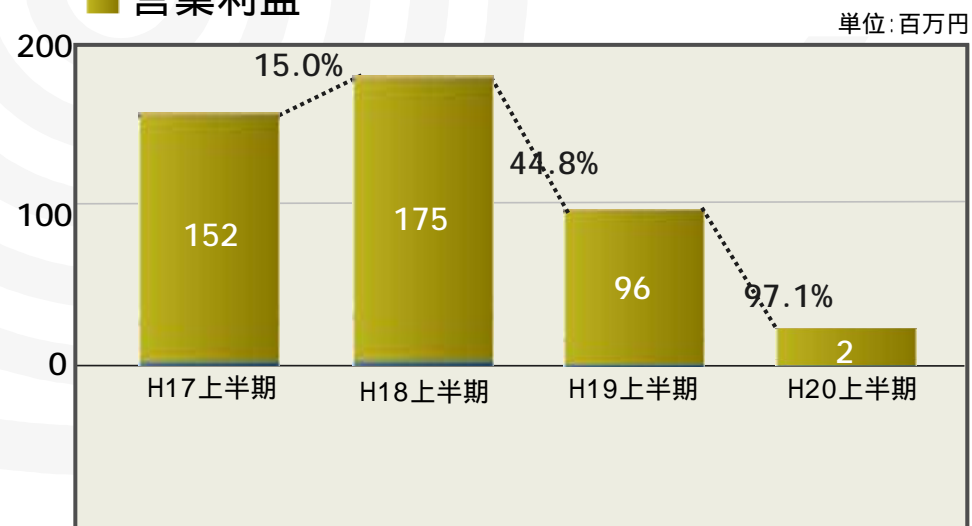
- テレビ事業部 (テレビパブリシティ)
- WEB事業部 (WebPR)
- メディアトレーニング部 (メディア・トレーニング)
- 危機管理業務部 (危機管理広報)
- フィナンシャルPR部 (財務広報及びIPOサポート) 平成20年2月設置
- 海外業務部 (海外コミュニケーション支援)
- 海外戦略企画室 (外国企業開拓) 平成20年3月設置
- PR企画部 (PR企画立案サポート)
- 報道分析部 (報道分析)
- 広告SP部 (イベント&セールスプロモーション)
- 中国室 (中国でのPR業務支援)
- 開発企画部 (官公庁・地方自治体の開発)
- 業務開発部 (新規プロジェクト開発)
- 情報セミナー部 (外部向けのセミナー開催)
- 金融戦略室 (金融に特化したPR) 平成20年6月設置
- 展示会業務部 (イベントに特化した業務) 平成20年2月設置
- コーポレートコミュニケーション部 (広告タイアップ) 平成20年3月設置
- 映像事業部 (映像によるPRサポート)

連結利益推移

■ 売上総利益



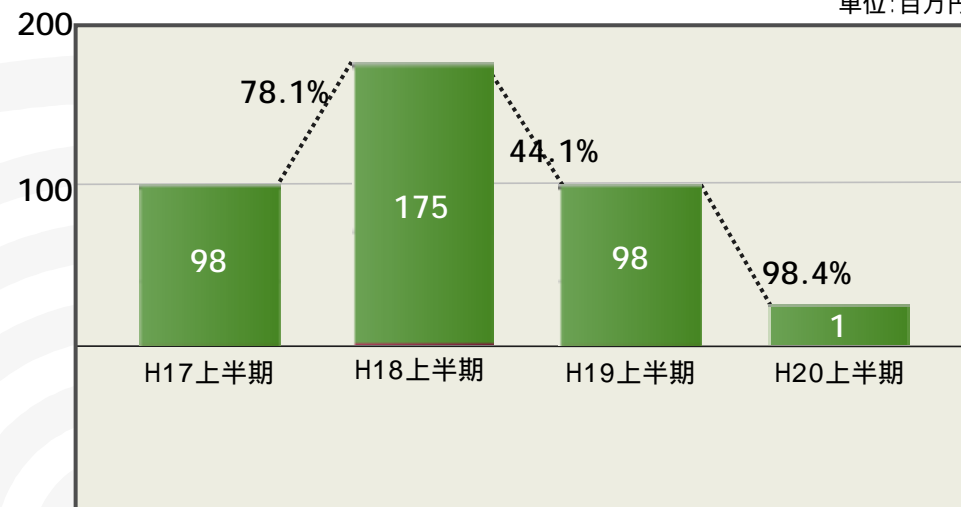
■ 営業利益



連結利益推移

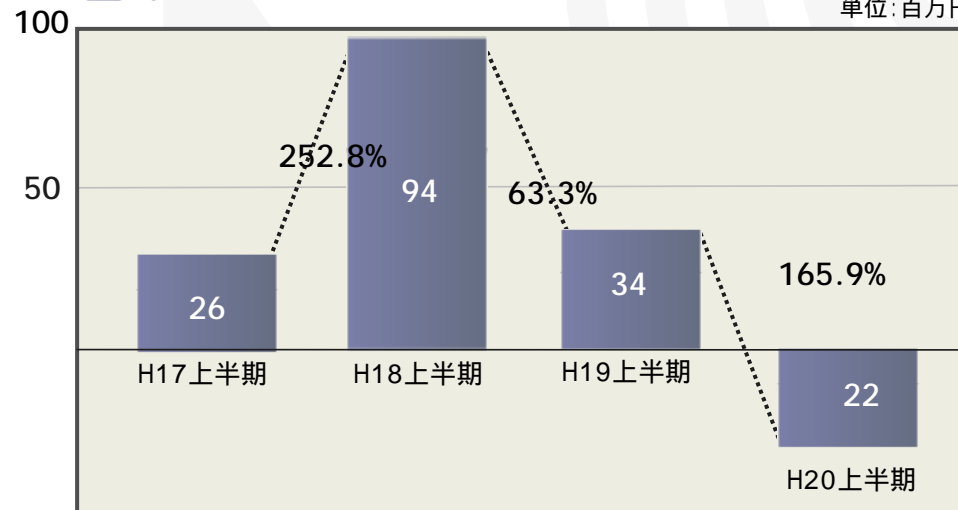
■ 経常利益

単位:百万円

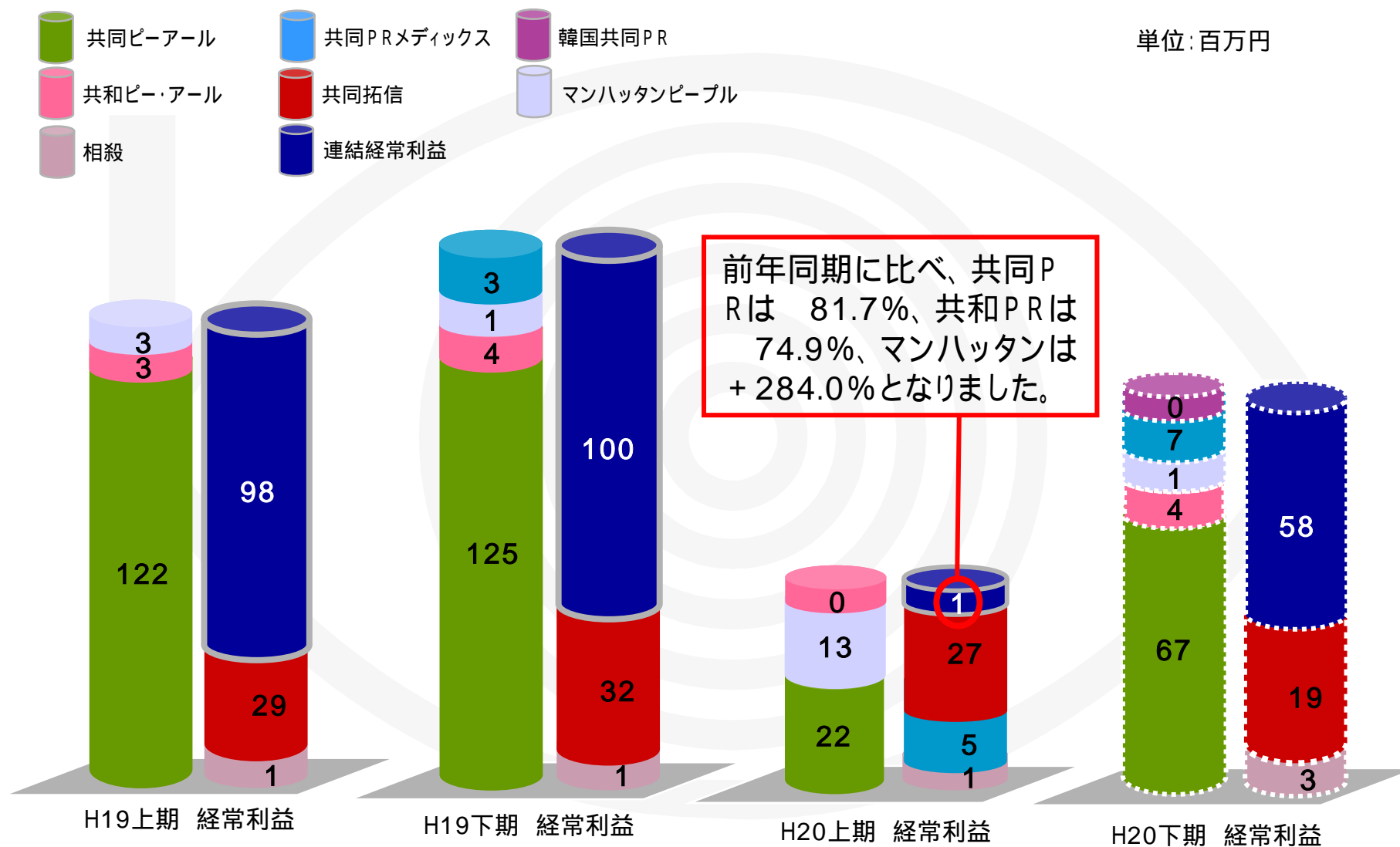


■ 中間純利益

単位:百万円

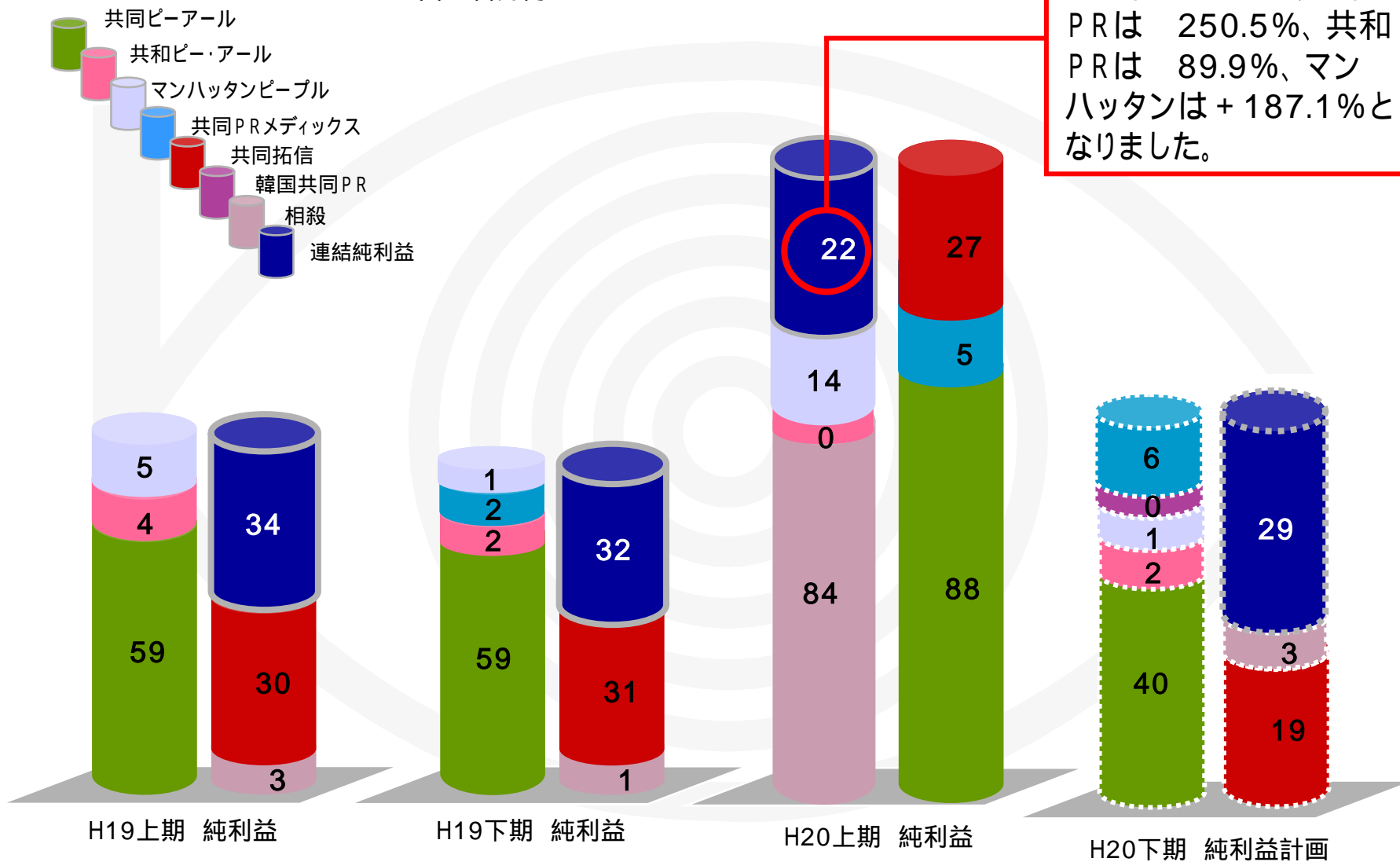


半期連結(会社別)経常利益推移



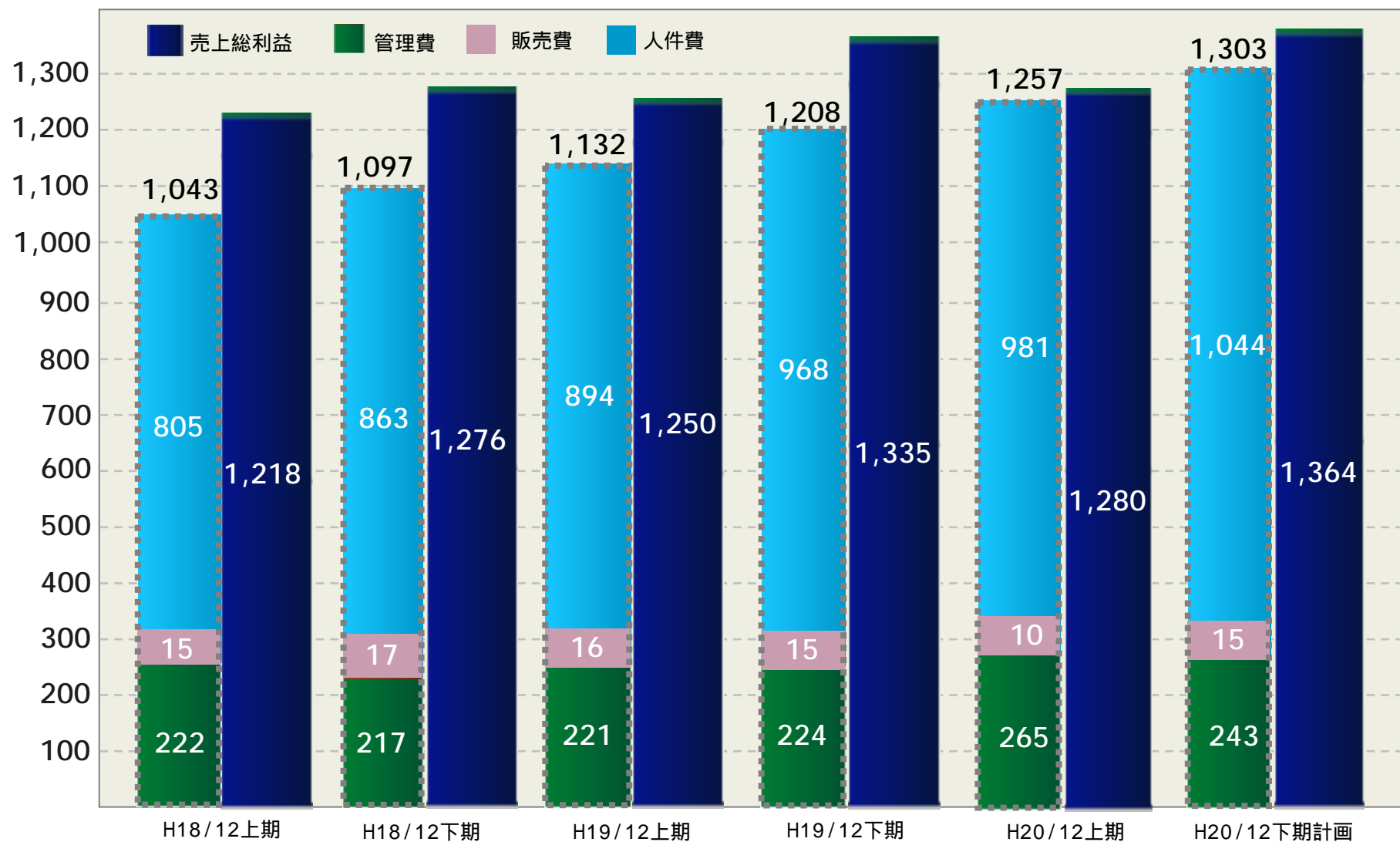
半期連結(会社別)純利益推移

単位:百万円



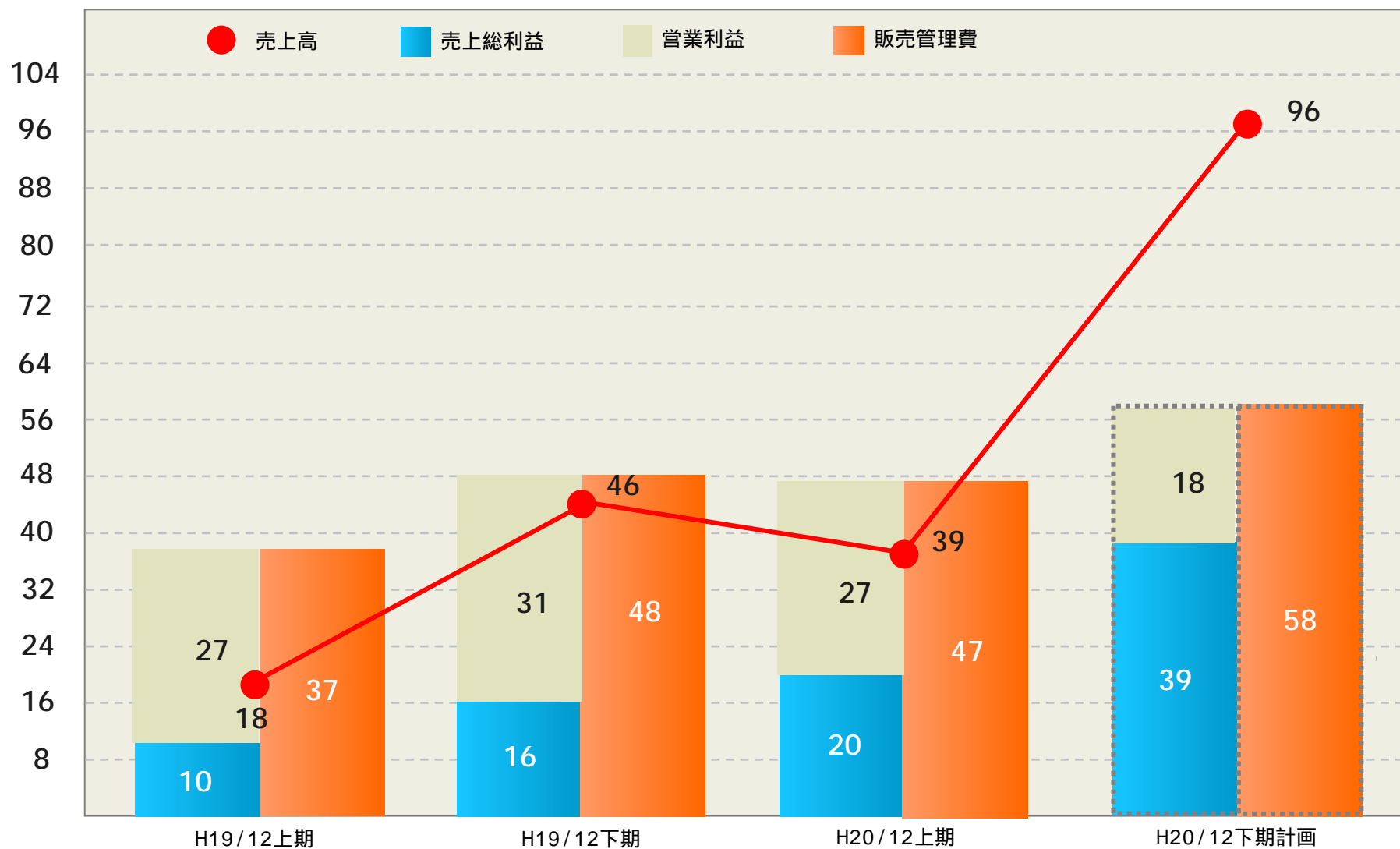
半期単体売上総利益・経費推移

単位：百万円



共同拓信公関顧問(上海)の業績推移

単位：百万円

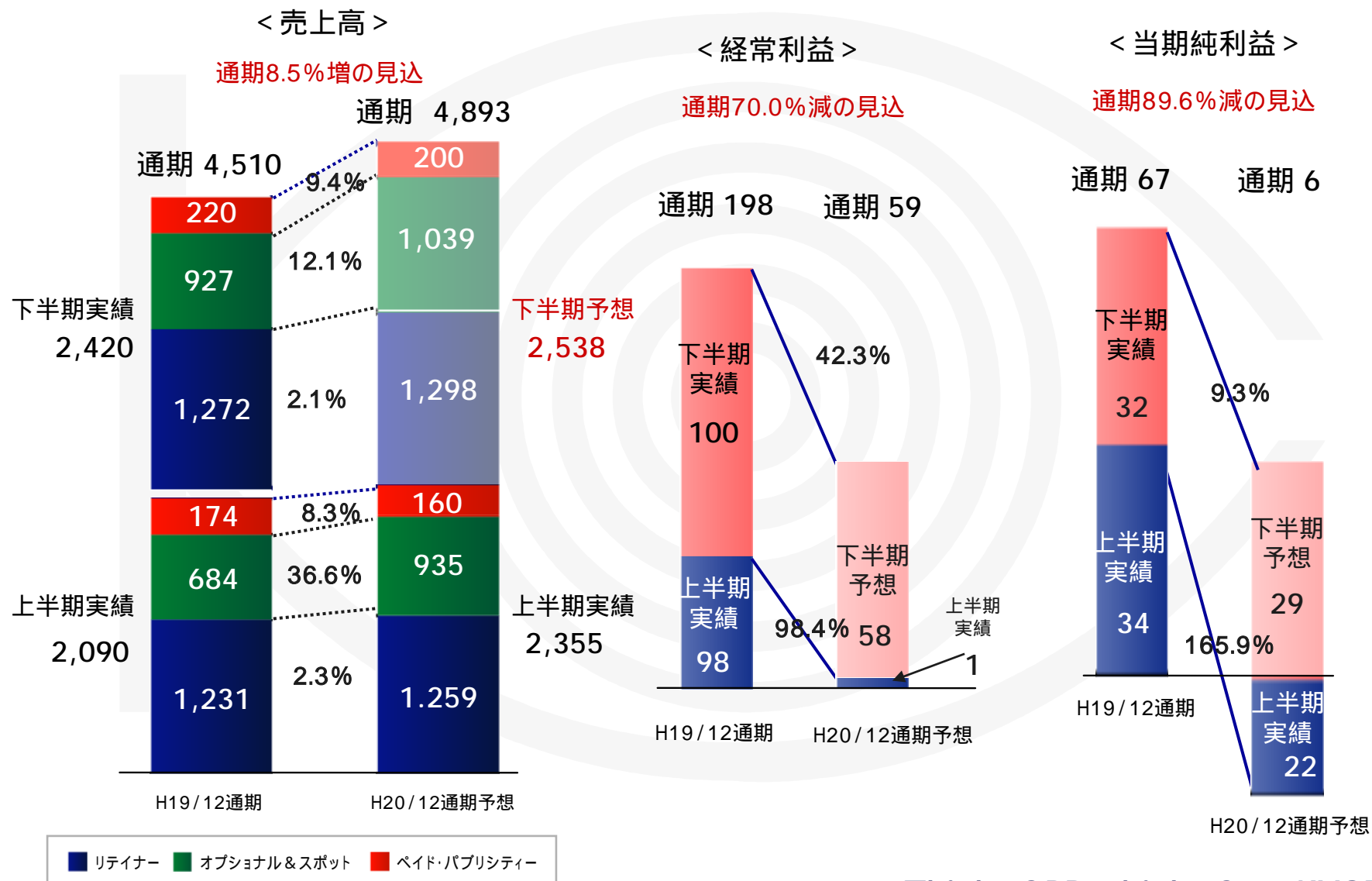


通期業績予想

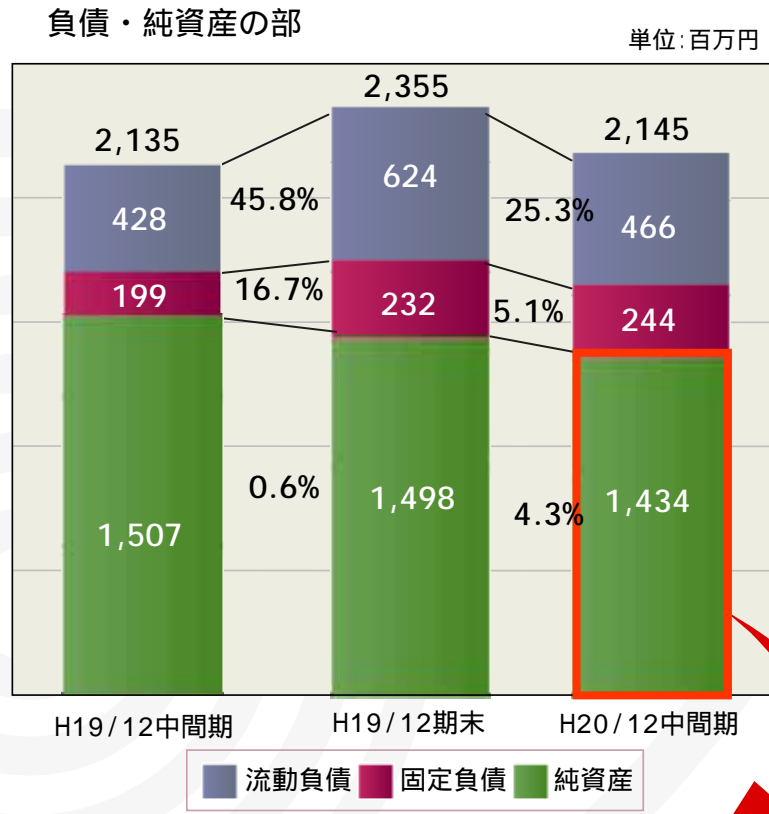
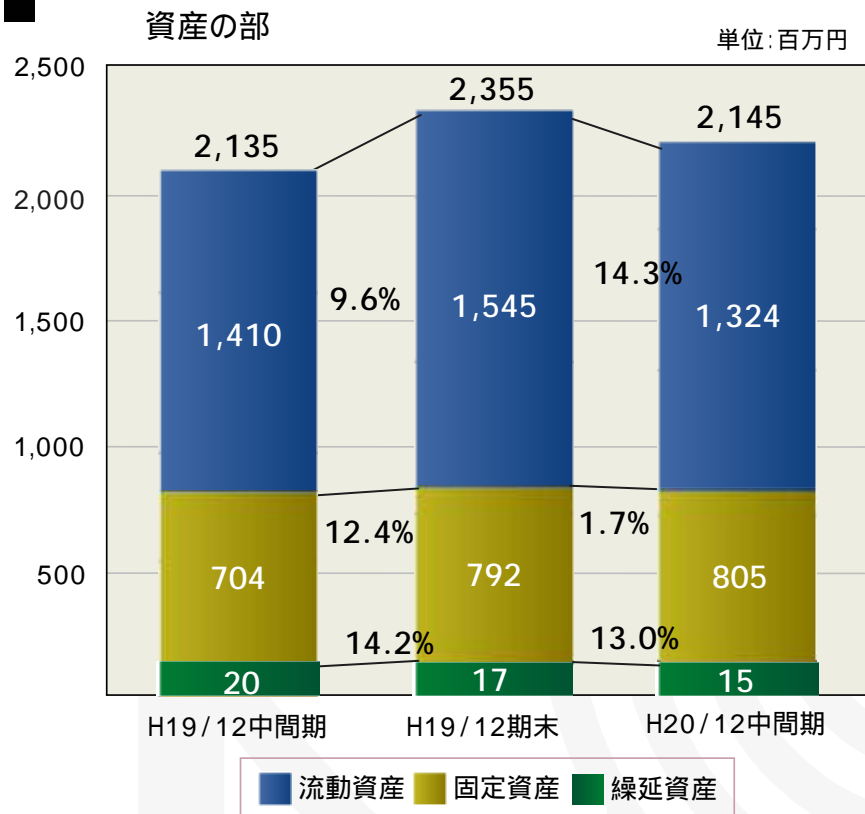
単位: 百万円

• 売上高の増加基調を維持

• 販売管理費の見直しを推進し下半期の利益率の改善を図る



連結財務の状況



	平成19年中間	平成19年期末	平成20年中間	期末比
自己資本比率	70.6%	63.6%	66.9%	+ 3.3 points

- 総資産は、前年度末と比較して209百万円減の2,145百万円。
- 流動資産は、前年度末と比較して現金及び預金の減少230百万円、受取手形及び売掛金の増加47百万円等により221百万円の減少。
- 流動負債は、買掛金の減少34百万円、未払法人税等の減少71百万円等により前年度末に比べ157百万円の減少。
- 当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の減少60百万円、その他有価証券評価差額金の減少1百万円、及び為替換算調整勘定の減少1百万円により前年度末に比べ63百万円の減少。

キャッシュフローの状況

単位：百万円

	前中間期	当中間期	増減
営業キャッシュフロー	74	111	185
投資キャッシュフロー	19	79	59
財務キャッシュフロー	64	39	24
現金および現金同等物	550	388	161
フリーキャッシュフロー	54	190	245

営業CF増減要因

税前利益	2
売上債権	47
仕入債務	34
たな卸資産	40
法人税	89

投資CF増減要因

固定資産	73
投資有価証券取得	2
敷金	9

財務CF増減要因

長期借入返済	1
配当金支払	37

本資料の取り扱いについて

- 本資料は弊社の事業及び業界動向について、弊社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確定要素が内在しております。
- 既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確定要素、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。弊社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて弊社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

【参考資料】 共同PRの概要

The outline of KYODO PR



会社概要

設 立 年 月 : 1964年11月14日

資 本 金 : 4億1千990万円

代 表 者 : 代表取締役社長 大橋 榮

役 員 数 : 取締役6名、常勤監査役1名、非常勤監査役1名

従 業 員 数 : 264名(単体)、312名(連結)

他、業務委託顧問 等: 若干名(平成19年12月31日現在)

連 結 売 上 高: 45億1千万円(平成19年12月31日現在)

連 結 経 常 利 益: 1億9千8百万円(平成19年12月31日現在)

支 社 : 名古屋支社

連 結 子 会 社 : 共和ピー・アール株式会社、株式会社マンハッタンピープル、
株式会社共同PRメディックス、共同拓信公関顧問(上海)有限公司
韓国共同PR株式会社

海 外 拠 点 : 北京、上海、ソウル、ブリュッセル(ベルギー)

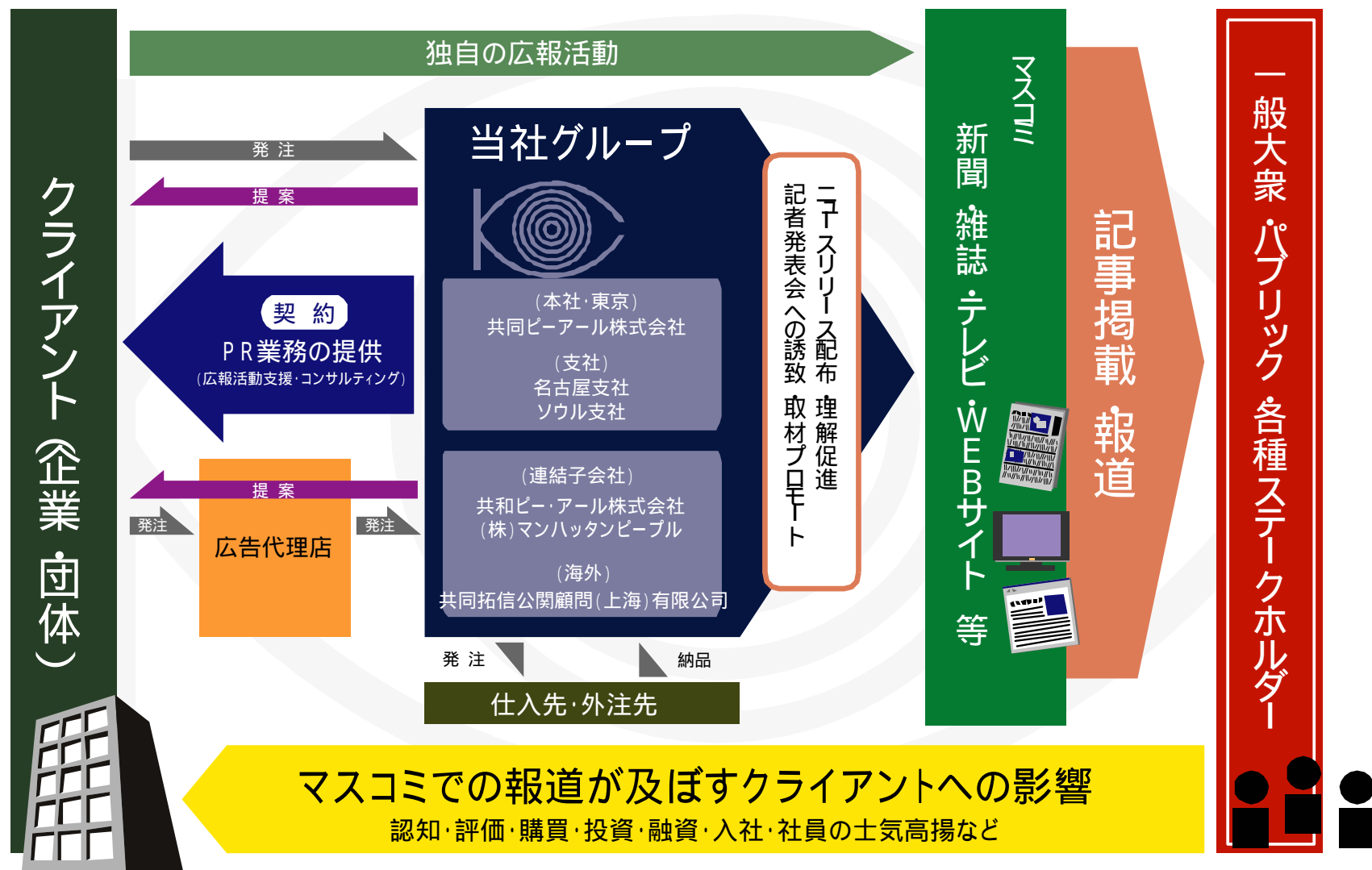
本 社 : 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22
TEL 03-3571-5171(代表)

ホ ー ム ペ ー ジ : <http://www.kyodo-pr.co.jp/>



ビジネスモデル

“ニュース素材”のメーカー



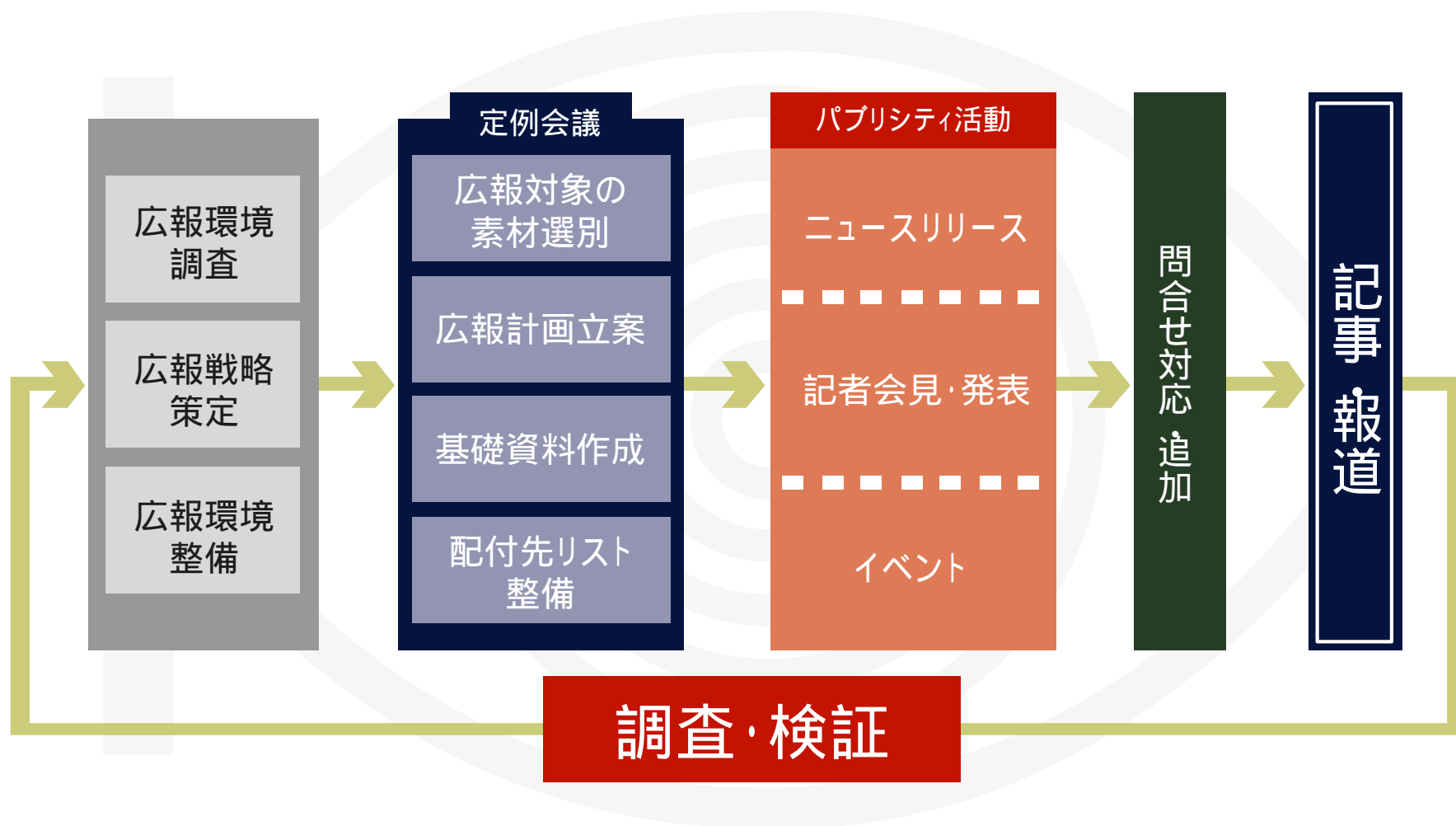
記事と広告の違いについて

PRは
“Public Relations”
 の略ですが、
 日本では広告との違いが
 うまく認識されていません。

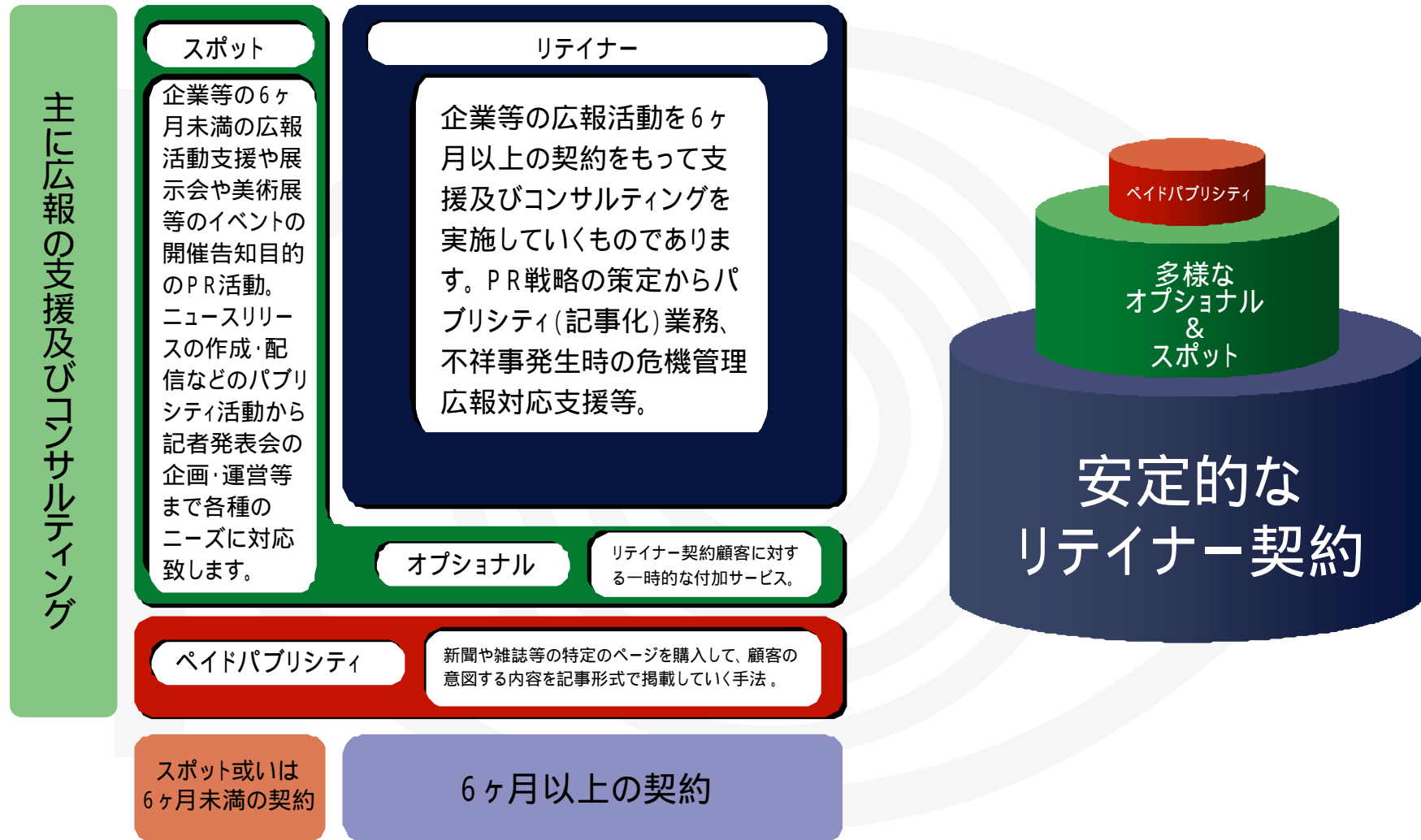


	記 事 (パブリシティ)	広告 (アドタイジング)
担当部門	報 道 局 / 編 集 局	広告局
掲載面	記事(報道／ニュース、番組内)	広告スペース (CF)
情報発信主体	マ ス コ ミ 側	広告出稿者
情報の特性	客 観 的	主観的
情報内容の基準 (傾向)	事 実	イメージ
情報のリピート性	▼ 低	▲ 高
内容の信頼度	▲ 高	▼ 低
費用対効果 (ROI)	▲ 高	▼ 低

パブリシティの全体図（基本業務フロー）



PR事業の業務区分の関係図



PR活動のさまざまなシーン



ニュースリリースの作成・発信



記者発表会



社長・人物インタビュー



公募・プレゼントパブリシティ



メディアキャラバン



取材誘致



プレスセミナー

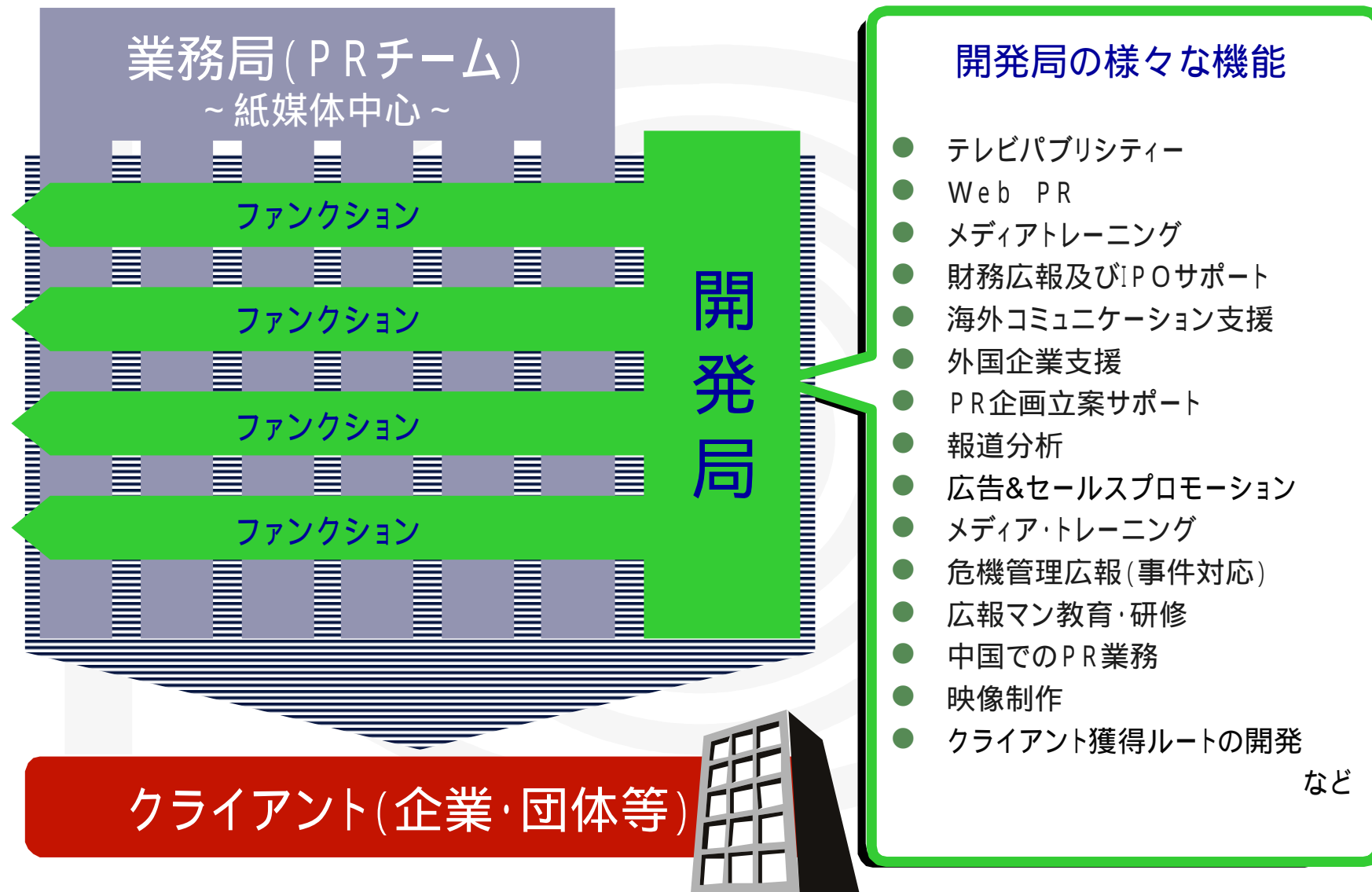


PRイベント



クリッピングモニター その他

質の高い総合サービス提供体制



共同PRの特徴と強み

特徴

1. 国内のPR業界最大手の1つ
2. 長期契約が多く、安定した経営基盤で着実な成長が期待される
3. 偏りの無いバランスのとれたクライアント構成

強み

1. 徹底したメディアリレーションズ（MR）戦略
2. グローバルなオペレーション体制
3. 質の高い総合サービス提供体制

テレビパブリシティ、Web PR、メディア・トレーニング、海外業務、教育、報道分析、セールスプロモーション など



グローバルなオペレーション体制

- 中国(上海)に子会社、韓国(ソウル)に支社を設立しアジアでのネットワークを強化
- ベルギーに欧州クライアント開発拠点
- グローバル・サイトでのマーケティング
- 各世代に英語堪能者を配置
- 外資系企業が約25%

各国のPR会社との関係

- ・BELGIUM
- ・CHINA
- ・DENMARK
- ・FINLAND
- ・FRANCE
- ・GERMANY
- ・GREECE
- ・HOLLAND
- ・IRAN
- ・IRELAND
- ・ITALY
- ・KOREA
- ・PORTUGAL
- ・POLAND
- ・SWEDEN
- ・SPAIN
- ・UK
- ・USA



ご清聴ありがとうございました。

Kyodo Public Relations Co., Ltd.

本資料に関するお問い合わせ先

Info@kyodo-pr.co.jp

03-3571-5172